

建設消防委員会

常任委員会

◎総社市砂川公園指定管理者の指定について

問 業務基準書・維持管理業務の中で、サービスの向上や利用率等の目標数値を設定して運営しているのか。

答 総社市砂川公園の指定管理に関する業務協定書の規定に基づき指定管理者から業務報告書及び利用状況の確認を行っている。さらに毎月、事業の実施状況・経営状況の把握をする目的で利用者数や収支について毎月報告をいただ



砂川公園管理事務所

いている。また、目標数値については、設定をしていないが、サービスの低下がないように基本的な目標として運営管理を行っている。

し、維持修繕に努めたい。予算については、道路の維持補修・維持管理は前年度額を確保する方針で進めている。



沼津市 通信指令施設

◎和解及び損害賠償を定めることについて

問 水路への転落事故の和解について弁護士と相談するか、正式な文書はかわしているのか。

答 事故発生当初から弁護士と協議を重ねており、損害保険会社とも協議し、相手方6割、国及び市で4割とする示談がついている。国においては11月4日に示談金が支払われている。市については議決されれば、示談書を交わしたのち、支払いをする。

平成15年4月から3市2町において、消防緊急情報指令システムを整備し、全国初の通信指令施設の他自治体との共同運用を実施することで、経費の削減を図っている。本市においても消防無線のデジタル化に伴い、広域化を考える上で参考にした。

愛知県瀬戸市 ◎住宅火災警報器の普及促進について 平成18年の住宅火災警報器の設置条例施行に伴い、民生委員会議や関係団体へ警報器設置の説明会、普及促進に努めている。

◎平成22年度一般会計補正予算(第4号)

問 道路の維持補修にかかる予算の確保及び危険箇所安全管理の考えはどうか。

答 部長マニフェストに掲げている道路パトロールを強化

沼津市立病院の協力のもとに、医療機関と消防機関が連携し、救急隊員の知識・技術の向上を図っている。また、市民の研修施設の説明を受け、今後の本市の救急体制と啓発活動の参考にしたい。

産業水道委員会

常任委員会

◎総社市水道事業会計補正予算(第1号)

問 営業外補正で29万2千円の減額及び企業債の返還金増額は確定によって、なぜ増減するのか。

答 当初、公的資金で元利均等方式で予算化していたが、実際は銀行から借り入れ、元金均等となったために予算を増減することになった。

問 第8水源に関するクリプトスポリジウム(病原性原虫)対策で4千万円ほどの程度のウエイトを占めているのか。

答 クリプトの電気施設及び配管施策の費用が全てである。本年度の補助事業費1億2千万円は紫外線設備、建屋及び場内配管の費用である。その三分の一の補助が4千万円である。

入札の結果、水道機工大阪支社と契約した。

問 日本水道協会(日水協)以外の入札業者はいなかったのか。

答 協会の中には30社以上あり、全国的にも選定されており本市は11社を選定した。

問 日水協の中で価格が統一されて独占企業的(談合)な感じがするが。

答 日水協の中で屋内修繕だけを見ても約200社以上あり業者間での競争入札となっているし、日水協は関与していない。

◎山田及び原地区の字の区域及び名称の変更について

岡山県の経営体育成基盤(ほ場)整備事業に係る名称変更によるものである。

◎平成22年度一般会計補正予算(第4号)

◎総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第1号)

別会計補正予算(第2号) いずれも、人事院勧告及び人事異動等に伴う人件費の補

正である。

以上、当委員会に付託された議案は、審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。

◎「TPPの参加に反対する請願」について

慎重に審査した結果、国の決定事項であるが、市議会として農業分野等での研究すべき案件であり、継続審査と決定した。

行政視察報告

●香川県丸亀市

一級河川の土岐川に隣接した飯野水源地は河川から直接影響を受けやすく、クリプトスポリジウムの指標となる大腸菌及び嫌気性芽胞菌が検出された。このため国の改善命令により、平成20～21年に、紫外線処理施設を整備した。

●愛媛県今治市

地産地消への取り組みから平成17年に新たに「食糧の安全性と安定供給体制を確立す



今治市 地産地消・JA直売所

る都市宣言」の制定。学校給食は大型共同調理場の老朽化に伴い、単独自校調理方式を導入。現在では24調理場で1万8300食を供給しており、地区によっては農家が旬の野菜を中心とした有機野菜を約50%搬入している。

産業水道委員会

- 委員長 松浦 政利
副委員長 名木田 正昭
委員 小西 義巳
委員 多田 英章
委員 笠原 武士
委員 丹下 茂

- 建設消防委員会
委員長 片岡 茂夫
副委員長 津神 謙太郎
委員 塩見 禎章
委員 加藤 保博
委員 荒木 勝美
委員 中村 吉男